

展望

マニトバ日本文化協会
180 McPhillips Street
Winnipeg MB R3E 2J9
マニトバ日系
文化センター

66 巻
2018 年 12 月

日文編集員

ブラント弥生

JCAM 会長報告

ケン寺村

九月の年次総会でアート三木から会長の座を譲り受けて以来、私の始めての会長報告となります。二〇一三年の合併より JCAM はアートの強力なリーダーシップで大きく成長してきたことをまず認識したく思います。

他に理事には復帰しない次の方々の多大な貢献を感謝します。

ワンダ山本、キャシディー・ネクインダ、自由飯田、ルーシー山下。

ボランティア理事会としてコミュニティのために時間と労力を貢献して下さい下さった方々にお礼を申し上げます。

次に新役員を紹介、歓迎します。

ジェイムス・シノック、リサ海田、ヘンリー小島、サラ江畑、みゆきカミング

それから副会長のマリー咲山の辞任の報告と共に副会長の任を担う方を募っています。

ヤングリーダーとしてブライアン・ツロンとダニカ・ミューラーが選出されました。

前号アウトLOOK以降、JCAM では色々なことが起こっています。JCAM は N A J C 年次総会を九月にホストし、日系センターでの歓迎レセプション、カナダ人権博物館でのワークショップ、ハンフリーホテルでのミーティング、マーク・サカモト氏がキーノートスピーカーと

して講演し、ギャラディナーのハイライトと盛り上がったウィークエンドでした。一連の会議の実行委員とギャラディナーの責任者レス小島に感謝と成功のお祝いを申し上げます。

コミュニティは更に活動を続けています。主なハイライトは左記をご覧ください。

・二週間ごとのどんぶりランチ、毎週のホライゾンランチ、子供、ユースのハローインパーティー、クラフトセール、最初の七五三。

その他にも日本語学校、踊り、太鼓、ヨガ、空手、剣道クラスなどが続けられています。

子供のクリスマスパーティーは八日。

次号ではコミュニティ基金を受けたグループの活動を特集したいと思います。コミュニティ内でのプロジェクトのハイライトを報告することを奨励します。

これが今年最後の号となります。

コミュニティの皆さまにとってこのホリデーシーズンがご家族、お友達と過ごされる幸せな時となり、二〇一九年が最高の年となりますように。

JCYL 日系ヤングリーダー

ヤングリーダー委員会より、九月に N A J C 年次総会に出席した皆さんに感謝致します。

日系ヤングリーダーはカナダ各地のユースから成り、地元、全国のイベントやプロジェクトを通してカナダ全国のヤングリーダーと繋がり、交流することを期待しています。二〇一八年、一九年には地域ごとの会合や全国会議を通してもっと直に面と向かって交流することに焦点をあてます。

またオンラインクラブやお互いに他のコミュニティ会員から学んだりシェアしたりするクラスなどを提供する予定です。又、日本へのエキサイティングな旅行も近く計画中です。クラブ、クラスプロジェクトなどに関心あるユースは

joyoungleaders@gmail.com
までご連絡ください。

二〇一八、一九年ヤングリーダー会員

アレックス三木 (ウイニペグ) 議長
アレックス奥田 (オタワ)
ブライアン・トムリンソン (オタワ)
キャロリン中川 (バンクーバー)
チャド・ピッコロ (カルガリー)
ハナ小笠原 (ガティノー)
カイヤ・フィッツジェラルド (ピクトリア)
マナ村田 (バンクーバー)

JCAM スポンサーに感謝

フランク堀慈善基金
SEVA インターナショナル慈善基金
B Positive チーム基盤
Investors Group 安達裕陽土
ユニークバニー
ポッカポカス
咲山建設

七五三のお祝い

七五三とは日本では恒例のお祝いで、七歳、五歳、三歳の子どもたちの健康と成長を祈って催される行事です。

JCAM 理事の安達裕陽土の指導で JCAM 初のお祝が日系センターで十一月十日に催されました。大人も子供も伝統の着物に身を包み、記念の家族写真を撮り、子供は千歳飴をもらい、大人はお酒をすすり家族で楽しんだようです。

文化を維持するには言葉、食べ物、着物の三つが要ですが、その一つ着物文化を継承する良い機会です。約十二の家族の参加があり、反応は大変良かったので来年も実行する予定です。
写真は英文アウトLOOKをご覧ください。

ホライゾンクラブ

当クラブは十二月五日に今年最後のドロップインがありました。九月に再開して以来、会員はタイチ、ランチ（４ドル）、カードゲームやたくさんのお喋りなどをたのしんでいます。

新年会は一月九日、ドロップイン再開は一月二十三日です。英文アウトロックにはハローインのコスチュームで楽しんでいる写真が満載です。ご覧下さい。

五五歳以上ならどなたでも歓迎です。
年会費はほんの五ドルとは見過ごせない！

多様文化ティーフェスト

十月十四日、フランコ・マニトバ文化センターでイスラミックソーシャルサービス協会が五回目の多様文化ティーフェストを催しました。

二〇以上の文化が参加し、それぞれのお茶やお菓子を提供しました。これはフレンドシップ交流のイベントで、非排他的、包括的社会を促進するために催されるものです。

十月はイスラム歴史の月ということで、総勢三五〇人がウイニペグの多様文化を祝い、CTVニュースアンカーのマラー・カルソが司会を務めました。当イベントは各文化の情報テーブル、子供たちのアクティビティーテーブルなどが含まれ、ハイレイトは子供のファッションショーで、各国の子供の衣装が紹介されました。JCAMは五年続けて参加しており、今回はテルミ桑田、安達裕陽土、アリソン安達、バレリー星崎ノーディン、ケイコ三木が参加しました。ファッションショーにはナディア・プチュニアク、とマナ・ミッチェルが登場、着付けを手伝ったルーシー山下に感謝です。安達裕陽土とアリソン安達が説明をしながらお茶を点て、ライバック純子と加山裕子がお琴の演奏で参加者を魅了しました。また子供のテーブルには折り紙もあり、ブライアン・コックスが子供達に折り方を教え、鈴木ひろこと柿木かずよがアシスタントを務めました。

多彩なコミュニティが集まり、共にカナダの多様文化を理解し、許容することは共通のビジョンです。このイベントに参加した皆さん、ありがとうございました。

写真と報告 テルミ桑田

日本の木彫り芸術

能面を彫る北沢さん

日本の伝統芸能、能は繊細な動きと最低限の会話とで知られる洗練された芸術です。世界で最も古い演劇の一つで、十四世紀に起源し、中国の音楽、日本の田舎踊り、狂言を含みます。能役者は動きを抑制するよう訓練されているので、それを補うためにお面をつけます。

十一月十七日、土曜日、世界でも名高い能面彫りの製作者、北沢ヒデタさんが日系センターで講演し、能面を披露し講演しました。北沢さんの伝統的な木彫りの技術は日本文化の重要な一部として外務省からも認識があり、人間国宝、能楽者、野村萬蔵一族の能面制作に携わったほどの力量があるとのこと。伝統的な能面の他には二〇一年、サンフランシスコでシェイクスピア、リア王の劇が能の解釈で上演された折、北沢さんはその面を彫り、大きな称賛を受けました。

北沢さんはウイニペグ大学の日本語教育リソースセンターを通して来られ、ジェフリー・ニユマー、レイ・シルバス両博士の伝統、現代日本文化に関するプレゼンに続いて実技を披露しました。英文アウトロックで写真をご覧ください。

故

リチャード一郎古川、マス宮井、ドナルドユタカ古谷、諸氏のご逝去に対し心から哀悼の意を表します。

マニトバ日本文化協会

マニトバ短歌会 十二月作品

奈津

・ 枝移る小雀に朝の陽は及び

・ 厨の壁に影をゆらせり

・ 月の夜は野兎も遊ぶか大小の

・ 足跡残るまさらな雪に

波留

・ 頂きしカレンダーの絵は床の間の

・ 掛け軸に似て昔思はず

・ この年のカレンダーは月々の

・ 花を描きて優雅に香る

亜紀

・ 平和には遠き世界の片隅に

・ 秋来れば鳴くこほろぎの声

・ こほろぎの鳴くしばし聞くタベ

・ 深閑として独りの食事

羽瑠

・ 母の手を振りほどきて駆け向かう

・ 凍れる川のスケートトレイル

・ 左右スケート靴を目で追えば

・ 吾子の背中のはたちまち遠く

葉流

・ 黙々とデッキに積りし雪払う

・ 四歳児手と頬赤く染め

・ サンキューは？とジイジに迫る四歳児

・ デッキの除雪終へたる後に

二〇一八年フオークローマ

日本館報告

二〇一八年日本館はセントジョセフホールで催され、五千五百人以上の入場者で賑わいました。ここ四年間の入場者数と利益の統計をご覧下さい。前年同様にゲスト、バスツアー経営者、フオー

クローマライセンス検査委員会からのフィードバックには日本館は上質な文化体験を今年も提供していて、お金を払って来るだけの価値があると書かれています。これを達成するには千人以上のボランティアの尽力が必要です。この数はエイサーグループを含みません。エイサーグループは二晩に三つのショーで観客を魅了したようです。

今年は新しく電子チケットを導入し、すしは外部発注、デビット、クレジットカードの使用を受け入れ、新人が実行委員に加わり、過去のフオークローマの上に成功を更に築きました。

次の二〇一八年フオークローマ実行委員会のチームに心から感謝申し上げます。

コーディネーター

アート三木、レス小島、ニック松尾

大使 デイビー&まゆみ川上

ジャスティン・チョイ、カイヤ・マセソン

入場 サンドラ芝田、ロリ清水

バー ジョン三木、ケン寺村

清掃 イアン・フィンレー、ヘザー・チョイ

食べ物 マーガレット鈴木、マリー・トムチャク

スーザン大江

文化展示 サリー伊藤、けいこ三木、

ジェフ・ニューマーク

エンターテインメント

ジェン・レトカマン、ジョディ小柳

食べ物レジと会計 ジャクリン・デミアニック

食べ物サーバー

ヘンリー小島、レイ・ノーマンチュー

ゲスト担当

カイヤ・レトカマン、ジョイ・レトカマン

警備(ゲスト) フィル向井、竹内さとし

安全管理 モナ・ヒーバート

かき氷 ダニカ・ミユラー

マーケティング、メディア ハイリー山本

土産品 けいこバーク、ヘザー・チョイ

支給購買 スティーブ・ハナー、アート三木

ボランティア サラ江畑、自由飯田

ボランティア室 テボラ竹内

二〇一五年から二〇一八年

日本館入場者数と純益の統計

詳細は英文アウトLOOKを照合下さい

	入場者数	純益\$
2015年	5573人	25311
2016	5089	14621
2017	5568	20222
2018	5514	16881

フオークローマ大使募集

フオークローマ委員会では二〇一九年日本館の大使を探しています。大使はパビリオンの顔であり年を通してフオークローマのプロモーションのためにコミュニティのイベントやお祭りに代表参加することになります。

大使としての義務は大使オリエンテーションとフオークローマ・マキックオフに出席することです。

その他に最低二つのアクティビティを選択する必要があります。二〇一九年の義務と選択するアクティビティの予定はまだ出ていませんが、それほど大変なものではありません。むしろとても楽しめるもので、たいてい考え方やゴールが同じの仲間たちと交流することになるでしょう。

重要なことは大使は日本館開館中はメインホストとしてお客さま、VIP、グループツアーにご挨拶をすることです。

八月のフオークローマが始まる前には日本館の経営状況、歴史、文化展示、食べ物準備などの知識をよく理解していることが期待されます。また大使は日本の伝統的な着物で名前と日本館のサッシュを身につけます。

軽い気持ちではできませんが、得るものは価値があり、そればかりでなく、仕事探しのレジュメに役立ちますよ。

ライセンスを持つパビリオンでは四名の大使が必要です。性は問われませんが、基準は成人(十八歳以上)二人とユース(二〇一九年八月で十四歳から十七歳)二人です。

二〇一九年日本館大使の役に感心のある方は左記のアドレスにメールでNOT9 Japanese Pavilion Ambassador の題でお送りください。 nicoo@shawca

メールの本文には成人かユース大使かを明記しなりたい理由を簡単に書いてください。

締切日は二〇一九年一月七日です。選ばれた方にはトレーニングを提供します。

残りの二〇一八年行事予定

十二月

十五日 すしクラス 午後一時より

JCAM会員四〇ドル

非会員六〇ドル

日曜ラーメン

午前十一時半と

午後一時より

センター関、開館日

閉館 十二月二十二日、二十六日、

二十九日、一月一日

開館 二十七日、二十八日 平常時間

一月二日以降 平常時間

日曜ラーメン

チケットは12ドル。前注文でのみ受け付けます。電話、204・774・5909又はEMAIL nicoo@shawca まで。

十二月十六日、一月十三日、二月二十四日の日曜日、午前十一時半、一時の二回です。

二〇一九年イベント予定

一月	
五日	ケルビン高校日本語クラス開始
六日	お正月
八日	成人日本語クラス開始
十一日	どんぶりランチ
十三日	日曜ラーメン、十一時半、一時
二十三日	ホライゾンクラブ開始
二十五日	どんぶりランチ
二十六日	弁当と映画 「いち」
二月	
一日	JETプログラムインタビュー
八日	どんぶりランチ
十六日	土曜映画と弁当
二十二日	どんぶりランチ
二十四日	日曜ラーメン、十一時半、一時

土曜映画と弁当へのご案内

日	二〇一九年一月二十六日、土曜日
	「いち」綾瀬はるか主演 座頭市の女性版？
日	二〇一九年二月十六日
	Our Little Sister「海街Diary」 綾瀬はるか、長沢まさみ、夏帆、 広瀬すず共演
時	オープン午後五時、放映六時
所	日系文化センター
	英字幕付き
	入場料は寄付をお願いします。

日の出太鼓

日の出太鼓の前会員、又は以前ビギナークラスを取ったことがある、でも時間がない、と言う方。ドロップインクラス・シャムセッションに参加しませんか。一月十二日、二月十六日、三月十六日の午前九時から十一時まで。コストは一回十ドル三回二十五ドルです。参加希望者は左記へご連絡下さい。
info@hinodetako.co

どんぶりランチ

金曜日のどんぶり予定日です。
一月十一日、二十五日、二月八日、二十二日、三月八日、二十二日、四月五日、二十日
ウイニペグのベストランチ。エビ、野菜どんぶり、すし弁当など多彩なメニューを経験豊富なボランティアが作ります。お試しください。

JCAM新理事

九月三十日の年次総会で新しい理事が選出されました。ここに紹介します。

会長	ケン寺村
副会長	募集中
会計	レス小島
書記	デボラ竹内
理事	

安達裕陽土、カミングみゆき、サラ江畑、リサ海田、ヘンリー小島、ジョイ・レトカマン
アート三木、大野貞夫、ジェイムス・シノック
カリナ上原、グラント・ボークス
お顔を知らない方もいるかと新役員の写真を英文アウトルックに載せました。ご覧ください。

感謝

理事として尽力して下さった次の方々にお礼を申し上げます。
ルーシー山下、飯田自由、カリン・ネクインダ
キャシディー・ネクインダ、根元かな
マリー咲山

ヤングリーダー

右記の十五名の理事の他に二人のヤングリーダーが任命されました。このポジションはユースの将来を見据え、コミュニケーションのリーダーとして成長する場を提供することが目的です。
十一月のミーティングで、ヤングリーダーの席が論議され、ダニカ・ミューラーとブライアン・ツロンの二人が二年の任期で任命されました。次のページにお二人を紹介します。

ブライアン・ツロン

ブライアンはベトナムと中国の血筋を持つ二十三歳でカナダ生まれです。彼が育った家の庭には桜の木があり、繊細で美しい日本文化に魅了されてきました。彼は二〇一〇年から日本語を学び、二〇一五年に同支社大学で学びました。現在もJCAMの日本語中級クラスを取っています。

ブライアンはウイニペグ大学、ビジネス・アドミニストレーション学士号を持ち、ウイニペグ大学での英語プログラムで(ここには多くの日本からの学生が来ている)ボランティアをしています。

来年からJCAMのマーケティング・アウトリーチ、スポンサーシップ委員会、フォークロラマ日本館で働く予定です。

ダニカ・ミューラー

ダニカは十八歳の日系五世で、彼女の人生の半分ほどをフォークロラマに関わってきました。九歳には柔道、その後かえで踊り最近のかき氷係。今年はその主任として原料の注文、供給、価格、設置などかき氷全ての責任を負いました。彼女はNAJCYヤングリーダー会議に出席し、理事として参加することを楽しみにしています。ディケアでフルタイムで働いている他にすしだるまでもパートで働いています。

来年からは文化、コミュニケーション行事やフォークロラマ日本館に関わる予定です。

編集部より

英文アウトルックには沢山の写真が載っています。懐かしいお顔に出会えるかもしれません。ご覧ください。

また寄付、寄贈リストもご覧下さい。購読者の皆さま、どうぞ健康でよいお年をお迎えください。